

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます



4月8日(水)、344名の新入生を迎え、第37回守山南中学校入学式を挙行了しました。

新型コロナウイルス感染症防止のため、規模を縮小し、青空の下での式となりました。皆様のご協力に感謝いたします。



「新入生(代表)の誓いのことば」では、「このような状況だからこそ、ここで出会った仲間たちと友情を深め、助け合いながら、前を向いて歩き出していきたい。」「(困難なことにも)仲間とともに乗り越えていきたい。」と、力強く述べていました。

「在校生(代表)の歓迎のことば」では、「守山南中学校にはたくさんの仲間がいます。いつでも相談してください。」「全校生徒で取り組む大きな行事『合唱コンクール』『体育大会』『きらり☆祭』を楽しみにしています。」「と温かくお話ししました。

今年度は、1年生344名、2年生361名、3年生333名 全校生徒1,038名でのスタートとなりました。残念ながら、まだ全校生徒で集ったことはありませんが、同じ学校の仲間としてお互いを大切に、気持ちよく学び活動できるようにしていきましょう。

入学式や始業式では、私から3つの校訓「敬愛」「躍動」「自立」についてお話をしましたので、その内容を紹介します。

敬愛とは「相手のことを尊敬し大切にすること、また親しみの心を持つこと」。誰にも良さがあり個性を持っていて、その一人ひとりの命はかけがえのないものです。自分と意見は合わなくても、相手を理解しようとし、大切にしようという気持ちを持てば、生活が豊かになっていきます。「敬愛」というのは、そういう人のあり方です。



次に**躍動**について。正面玄関を入ると、たくさんのトロフィーや賞状がありますが、その賞を受賞した人はもちろん、学校全体の力、躍動する姿を感じます。一人ひとりが無限の可能性を持っていて、夢や目標をもって学び続けたり練習し続けたりすれば、輝き躍動し、大きく成長できるでしょう。

そして**自立**ということ。社会においては、様々な問題に対して、自ら考え判断し、自ら行動して解決していかなければなりません。自立とはそういう力です。だからこそ、単に物事を覚えるだけでなく、日々の学習において問題意識をもって、粘り強く試行錯誤をしながら解決していくとすることが大切なのです。

こうしたことを胸に、これからがんばっていきましょう。

ただ、不安や悩みがあるときには一人で抱え込まず、お家の人はもちろんのこと、先輩や先生、そして周りの同級生など、誰かと相談しましょう。

読書は人生を豊かにしてくれます

私が少年時代を振り返って一番後悔していること、それは読書をしなかったことです。

でも、悔やんでも時間は戻ってきませんし、今からでもと思い、毎日ほんの少しの時間ですが、合間を見つけては本を読んでいます。

近年、私が読んだ本のなかに、お笑い芸人で芥川賞作家の又吉直樹さんが書いた「夜を乗り越える」という本があります。この本は、又吉直樹さんが少年期からこれまで読んできた数々の小説を通して「なぜ本を読むのか」「文学の何がおもしろいのか」「人間とは何か」などについて、考えをまとめたものです。数々の本との出会いが紹介されており、その中には私が読んだ本も多く含まれていて、又吉さんと同じようにワクワクしながら同じ本を読み進めたことを思い出したり、あるいは、「私とは結構違う受け止め方をしているのだな」とか、「私には考えも及ばないほど深く読んでいるのだな」と感じたりもしました。

その本のなかで又吉さんは、本を読むこと理由の一つとして、「答えのないことを学べる」と述べています。「社会に出たらもうほとんど答えなんかありません。だから争いがあるのだし、物事は難解なことばかりです。そんな答えのないことにぶつかった時、それでも止まらず進んでいかなければならない時、どうするのか。生きていくことは面倒くさい。答えがありません。本はそのことを教えてくれます。答えがないことを学ぶことができます。その時の主人公の迷いや葛藤、その末の判断を知ることができます。・・・」と、このように述べています。

また、本には、ドラえもんの「どこでもドア」を現実のものとしてくれる、そんな魅力もあります。100年以上も昔に書かれた本をとおして、自分がこの世にいなかった頃の生活を味わうこともできますし、外国で書かれた本を読んで、いろいろな国の生活の様子を知ったり、外国の人々の考え方にふれたりすることもできます。まさしく、本というのは私たちに夢をもたらせてくれるものです。



明日4月10日(金)から23日(木)までは、再度の臨時休業となります。この機会に、本を読んでみるのはどうでしょうか。

明日からの2週間、どのようにすごしますか。

学校ではチャイムがなりますが、家でチャイムを鳴らすのはあなた自身、考えて行動するのもあなた自身です。時間割表をつくりますか。自分なりの計画表をつくりますか。

まずは、夜寝る前に、次の日の計画を考えて書き出してみてもどうでしょうか。